

1 国際報告書（第1弾）及び参加国・都市別報告書

社会情動的スキルと、個人・家庭・学校の特徴との関連について

2 国際報告書（第2弾）及び参加国・都市別報告書

社会情動的スキルの促進と、学校、家庭、社会との関連について

3 ショートレポート

10歳児と15歳児の比較とスクールサイコロジストの役割

国際報告書により

- ・性差や経済格差によるスキルの高低や各指標の高低が明らかになった。
- ・社会情動的スキル等を伸ばすために必要な政策等が提示された。

※各地域ごとの具体的なスキルの高低等は特に明記されていなかった。



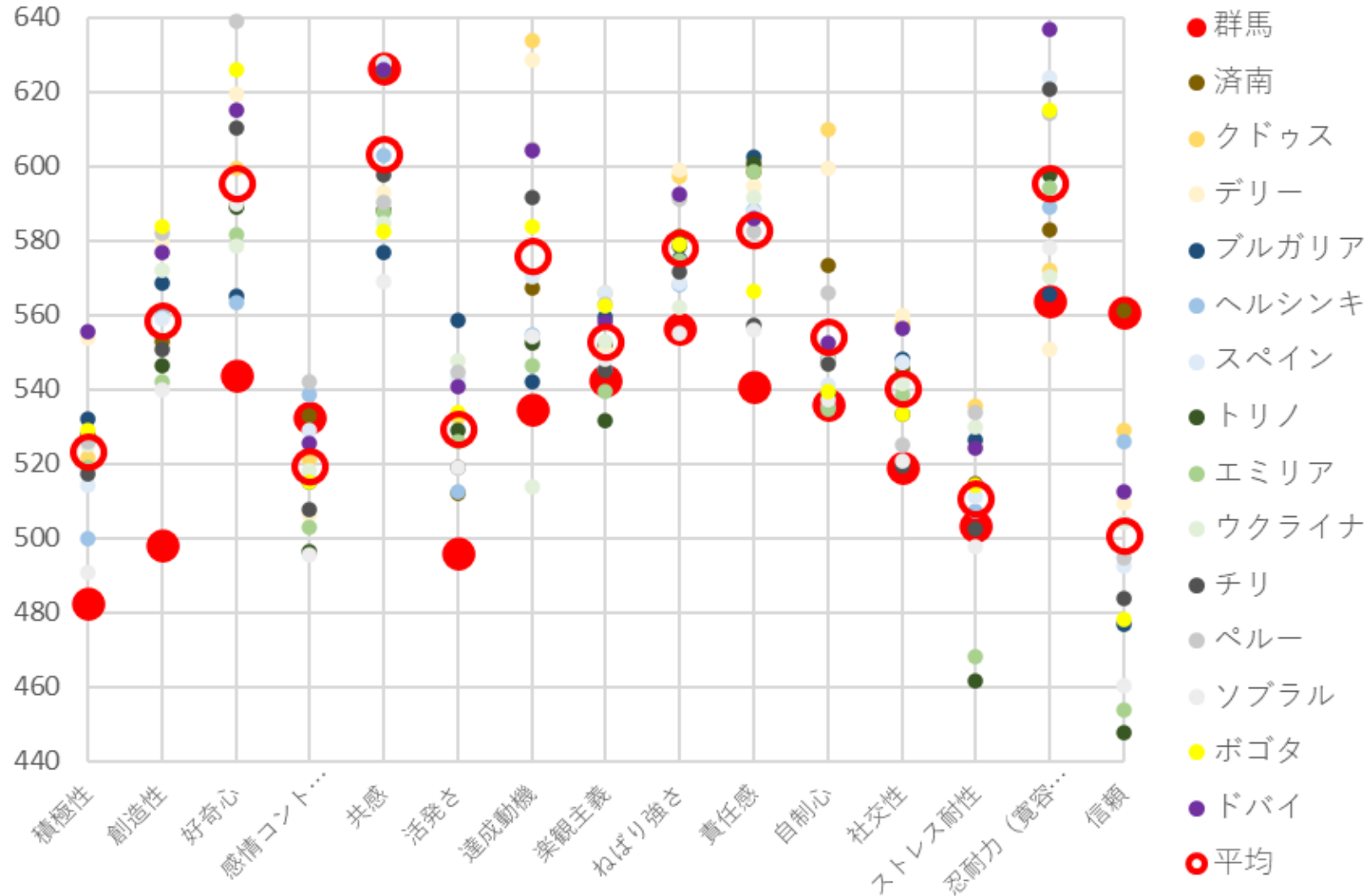
群馬県として

◆ OECDが公開しているデータから、**スキル等について国際比較**を行う。

- ・参加地域と群馬県の生徒の各スキルにおける平均値を比較する。
- ・群馬県の男女の生徒における各スキルの平均値を比較する。
- ・学校生活に関する質問への回答から他の地域と異なった傾向が見られた群馬県の生徒の特徴をグラフ化する。
- ・各スキルとその他の指標の相関関係を求める。

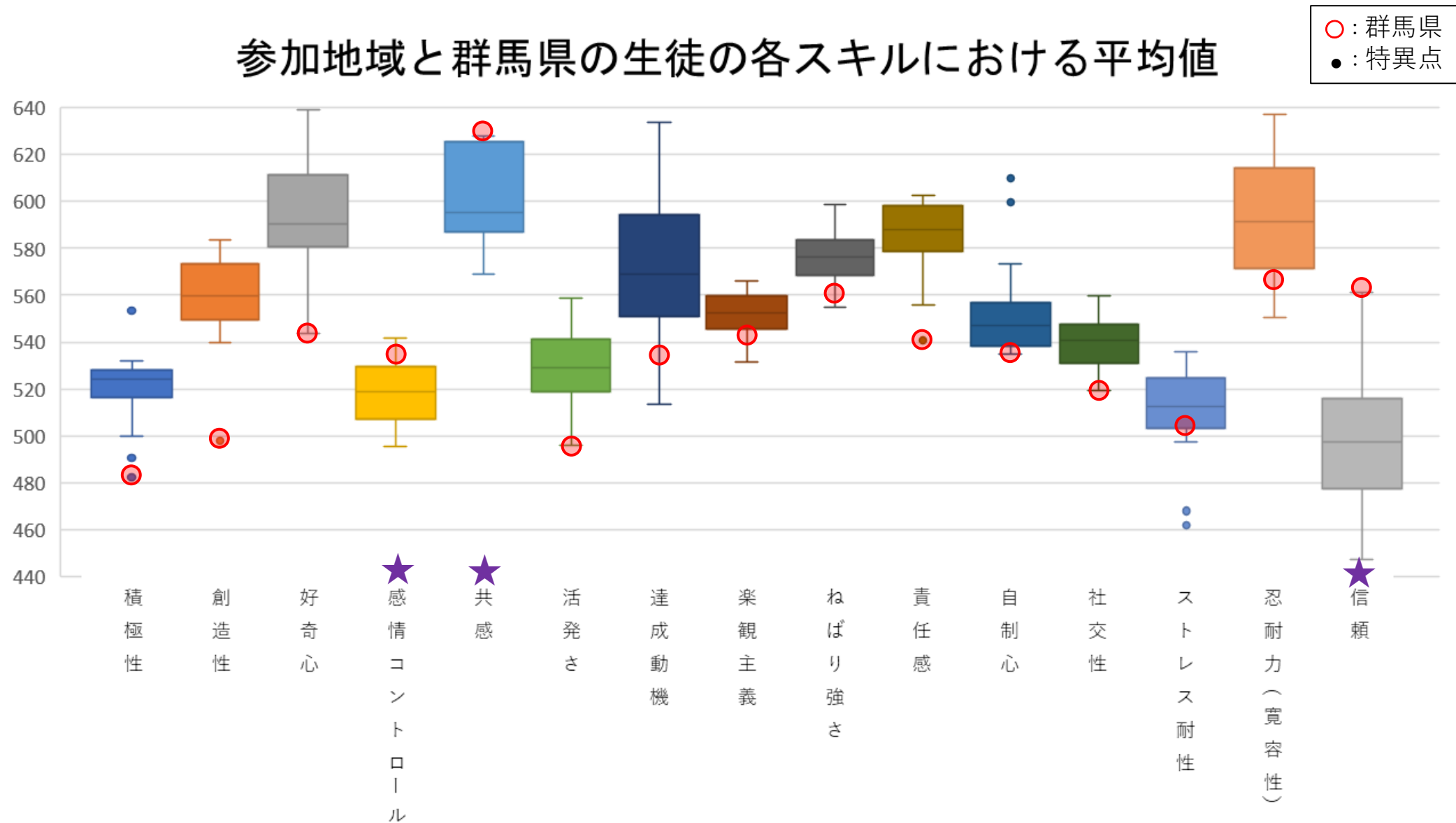
◆ 本日の専門家委員会を踏まえてさらなる分析をする。

参加地域と群馬県の生徒の各スキルにおける平均値



- 質問文には肯定的表現と否定的表現の両方が含まれる。
- 質問には5段階で回答し、スコア付けされる。
- SSESの社会情動的スキルの尺度は、平均値が500前後、標準偏差が100前後の正規分布にほぼ合うようにスケールされている。

社会情動的スキルを図るための質問項目は、OECDのWebページでも公開されていません。



★群馬県が他の地域と比較して高いスキル

群馬県（日本）の生徒のほとんどのスキルの値が他の地域の生徒と比較して、低くなっている。（感情コントロール・共感・信頼を除く）

考えられる理由としては

- スキルが他の地域の**生徒と比較して実際に低い**。
- 他の国際調査でも主体性や自己肯定感等は低く出ている。（スライド5）
- 質問項目が日本の文化的背景を考慮して日本語に翻訳されていなかったのではないかと。そのため群馬県の生徒が**回答する際に質問の意図がわかりにくかった**。
- **謙虚に回答する文化的傾向（慎ましさ＝美德）**により、国際調査で数値が低くなった。

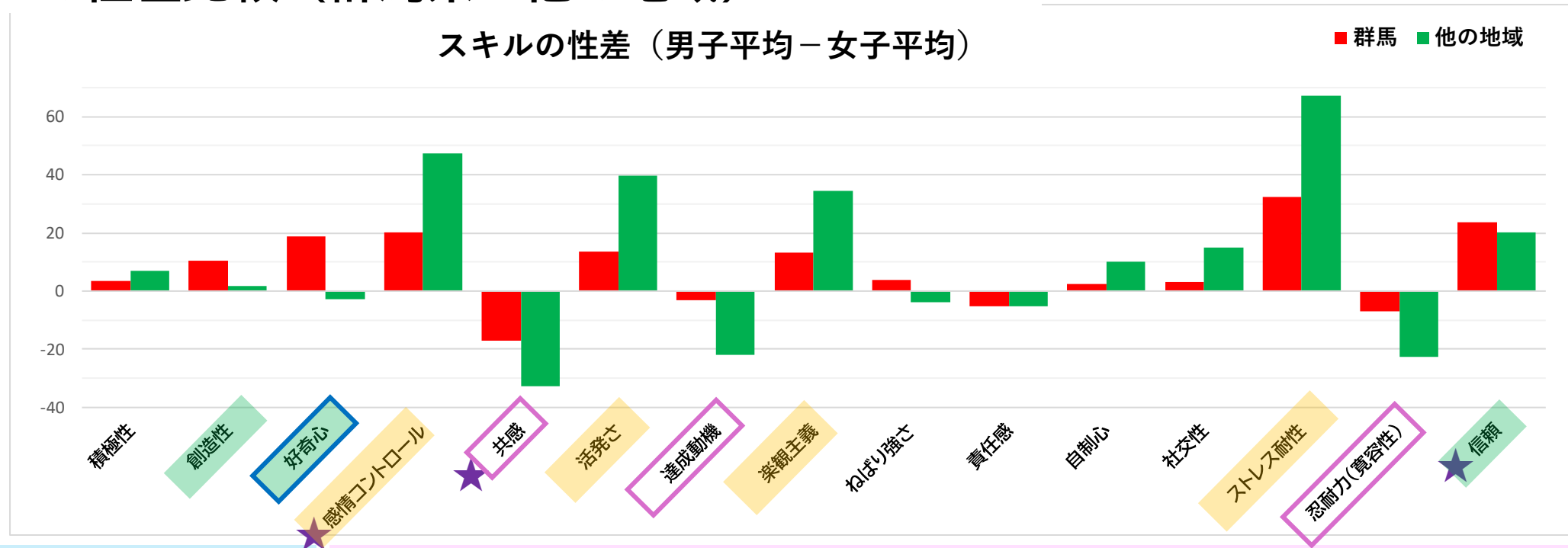
尺度への回答は文化による反応バイアス（たとえば、尺度の極端な数値の回答を避け、中程度と回答する傾向など）や参照点の違い（たとえば、自己の幸福感などの判断において、日本では周囲の日本人との比較が、アメリカでは周囲のアメリカ人との比較が用いられるといったように、比較対象が文化によって異なること）が存在しうる（Heine et al., 2002）。

(参考) 「国や社会に対する意識」

(日本財団「18歳意識調査」 2019.11)

	自分を大人だと思う	自分は責任がある 社会の一員だと思う	将来の夢を持っている	自分で国や社会を 変えられると思う	自分の国に解決したい 社会議題がある	社会議題について、 家族や友人など周りの人と 積極的に議論している
日本	29.1%	44.8%	60.1%	18.3%	46.4%	27.2%
インド	84.1%	92.0%	95.8%	83.4%	89.1%	83.8%
インドネシア	79.4%	88.0%	97.0%	68.2%	74.6%	79.1%
韓国	49.1%	74.6%	82.2%	39.6%	71.6%	55.0%
ベトナム	65.3%	84.8%	92.4%	47.6%	75.5%	75.3%
中国	89.9%	96.5%	96.0%	65.6%	73.4%	87.7%
イギリス	82.2%	89.8%	91.1%	50.7%	78.0%	74.5%
アメリカ	78.1%	88.6%	93.7%	65.7%	79.4%	68.4%
ドイツ	82.6%	83.4%	92.4%	45.9%	66.2%	73.1%

スキルの性差比較（群馬県と他の地域）

全地域の傾向
（国際報告書より）

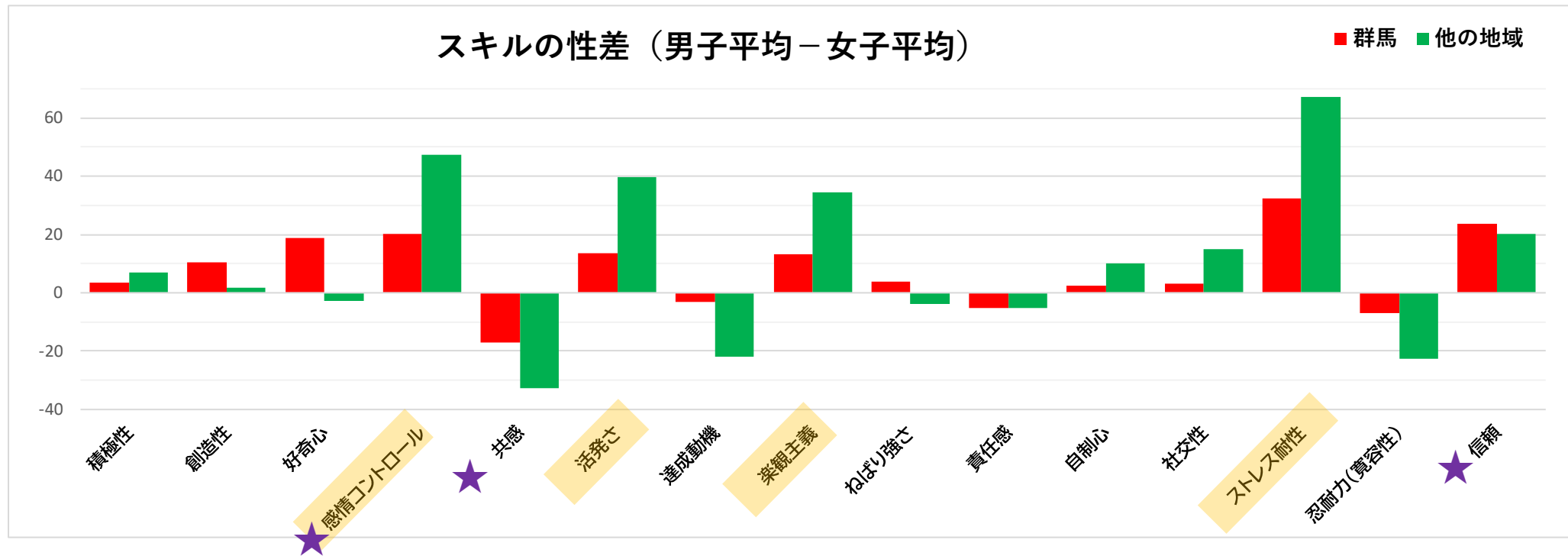
- ❑ 女子の方がスキルが低い傾向にある。
- ❑ 群馬県が他の地域と比較して性差が小さい傾向にある。

群馬県の特徴

- ① 感情コントロール・活発さ・楽観主義・ストレス耐性
 - 全地域で男子の方がスキルが高く、性差が大きいですが、群馬県は性差が小さい。
- ② 共感・達成動機・忍耐力（寛容性）
 - 全地域で女子の方がスキルが高く、性差が大きいですが、群馬県は性差が小さい。
- ③ 創造性・好奇心・信頼
 - 他の地域よりも群馬県の方が性差が大きい。
- ④ 好奇心
 - 他の地域では女子の方がスキルが高く、性差が小さいが、群馬県は男子の方が高い。

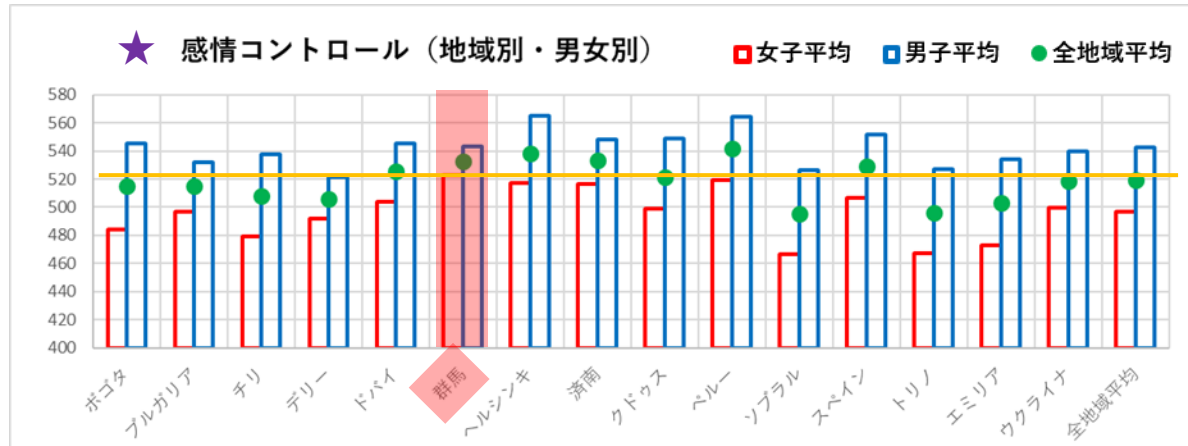
群馬県の特徴①（感情コントロール・活発さ・楽観主義・ストレス耐性）

- 全地域で男子の方がスキルが高く、性差が大きいですが、群馬県は性差が小さい。



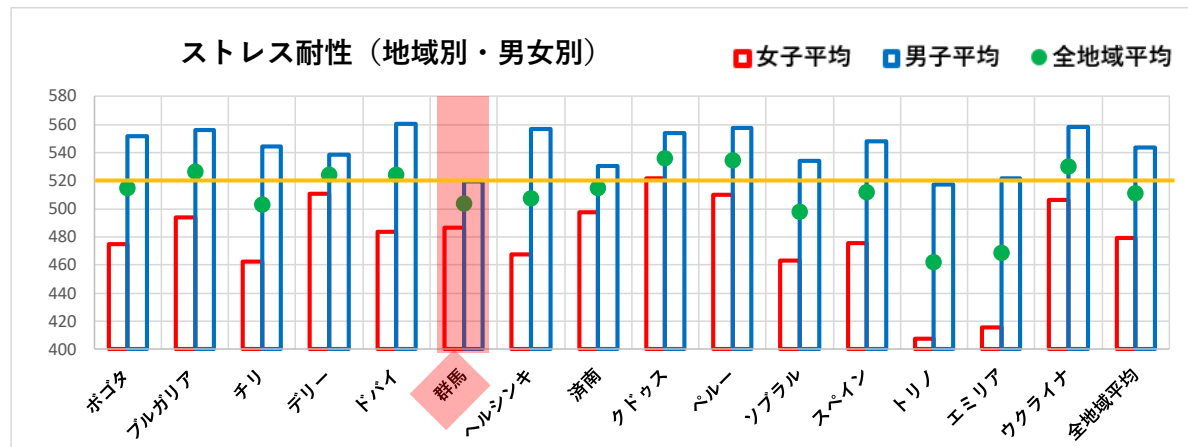
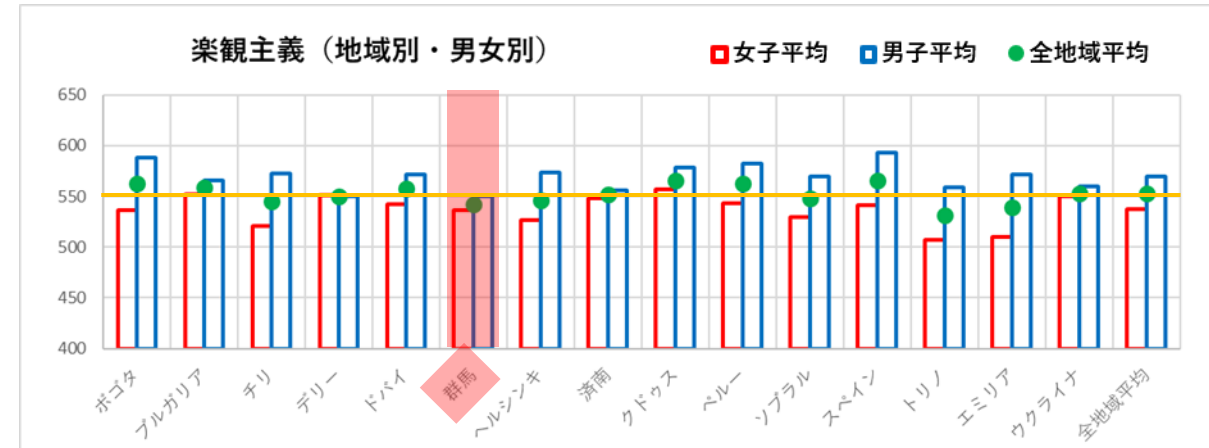
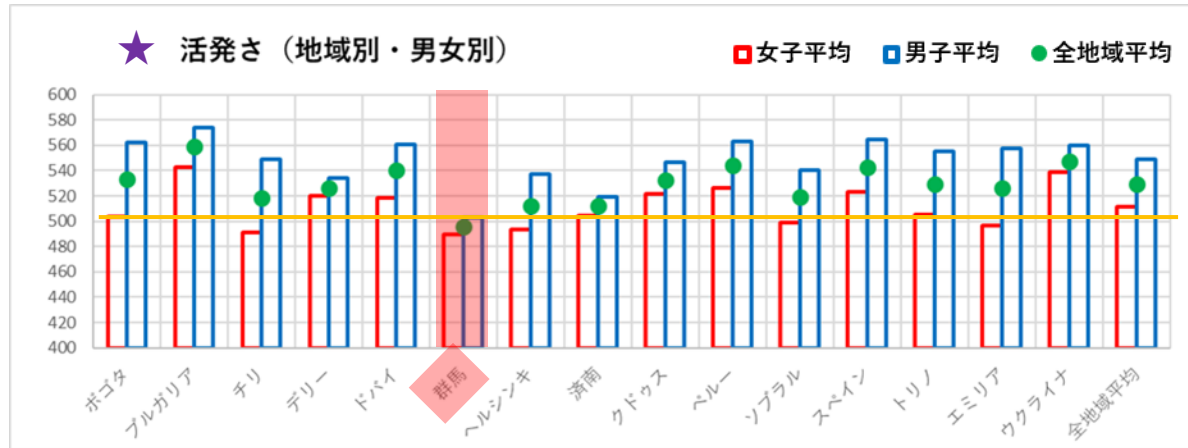
群馬の特徴① 全地域で男子の方がスキルが高く、性差が大きいですが、群馬県は性差が小さい。

◎群馬県の子の値が他の地域と比べて高いので、群馬県の性差が小さい。



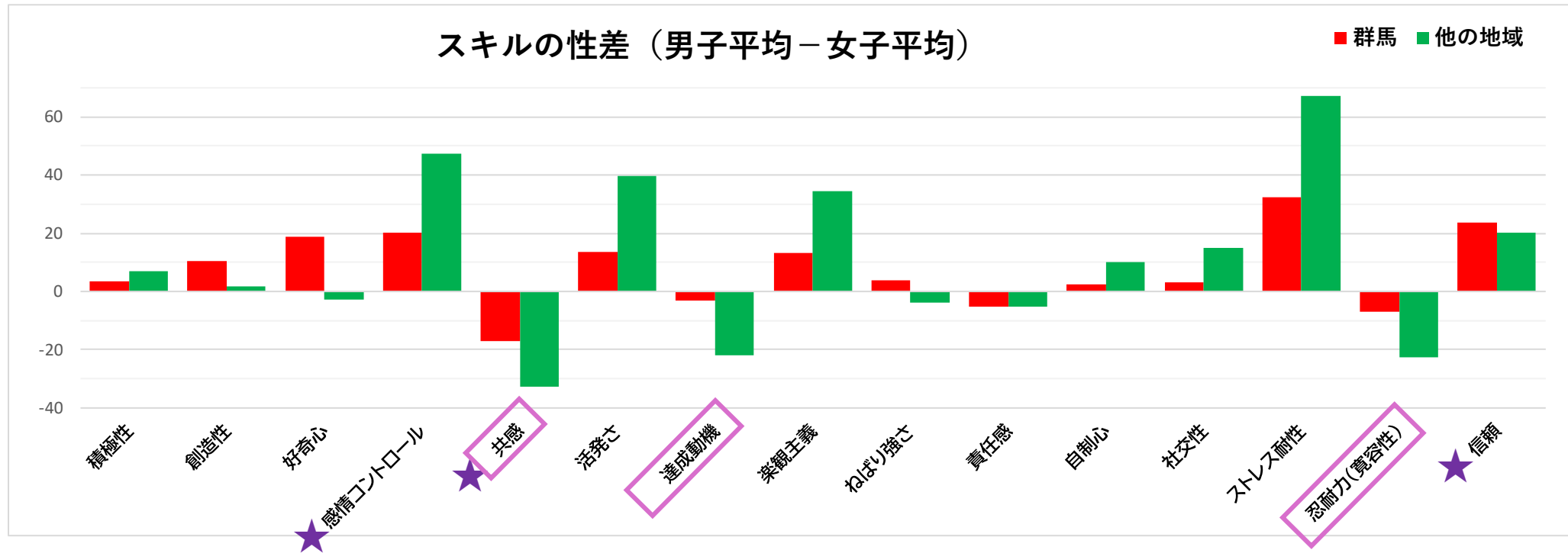
群馬の特徴① 全地域で男子の方がスキルが高く、性差が大きいですが、群馬県は性差が小さい。

◎群馬県の男子の値が他の地域と比べて低いので、群馬県の性差が小さい。



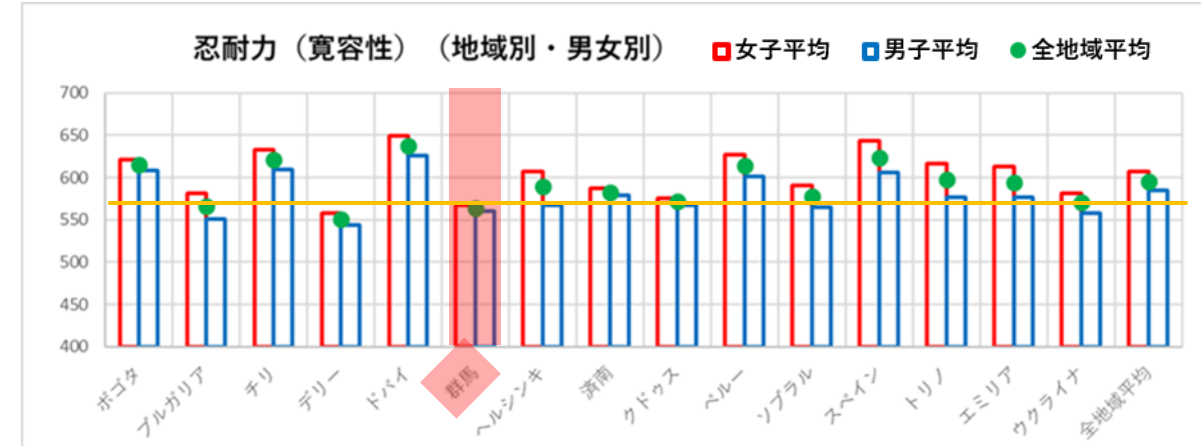
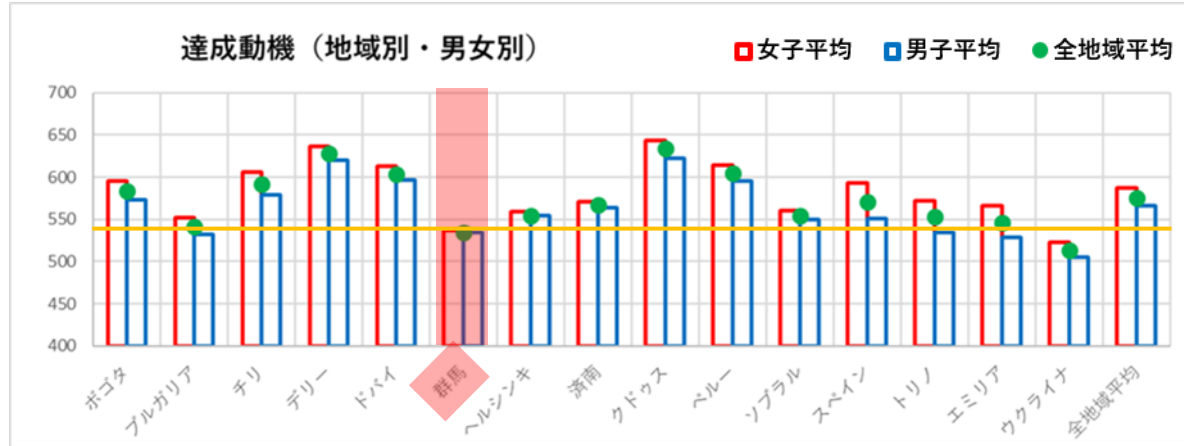
群馬県の特徴②（共感・達成動機・忍耐力（寛容性））

- 全地域で女子の方がスキルが高く、性差が大きいが、群馬県は性差が小さい。

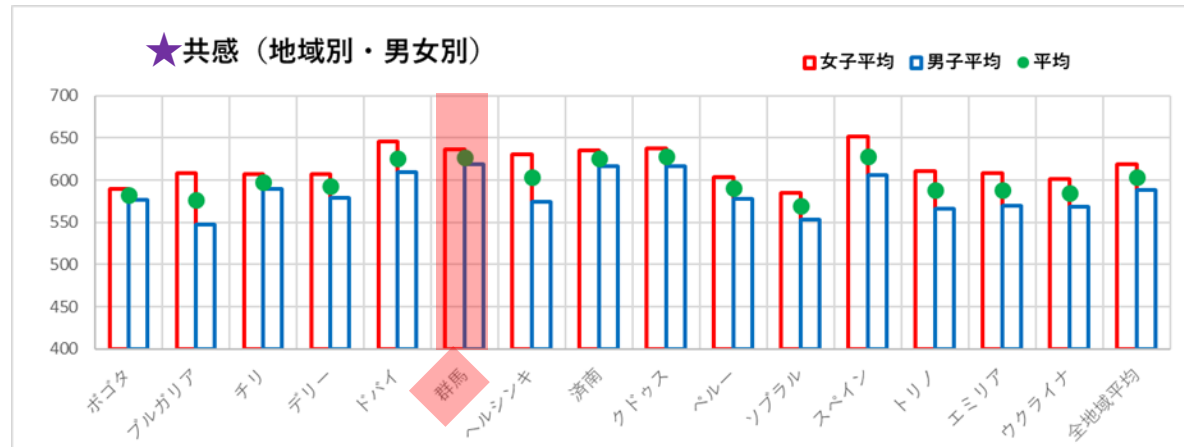


群馬の特徴② 全地域で女子の方がスキルが高く、性差が大きいですが、群馬県は性差が小さい。

◎群馬県的女子の値が他の地域と比べて低いので、群馬県の性差が小さい。



◎群馬県 of 男女ともに他の地域と比べて高いので、群馬県の性差が小さい。

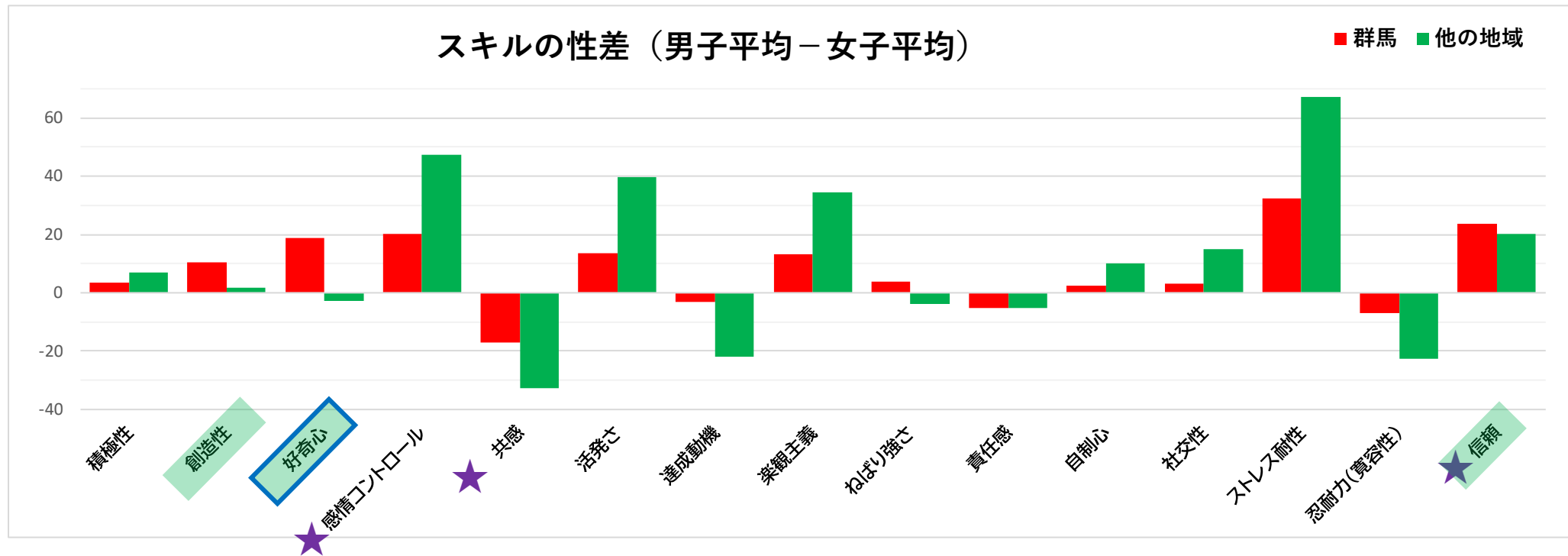


群馬県の特徴③（創造性・好奇心・信頼）

- 他の地域よりも群馬県の方が性差が大きい。

群馬県の特徴④（好奇心）

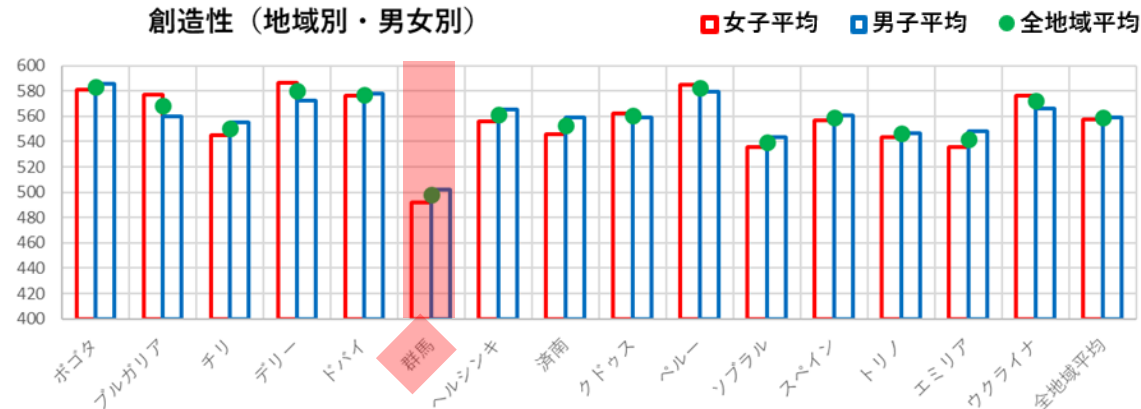
- 他の地域では女子の方がスキルが高く、性差が小さいが、群馬県は男子の方が高い。



群馬県の特徴③ 他の地域よりも群馬県の方が性差が大きい。

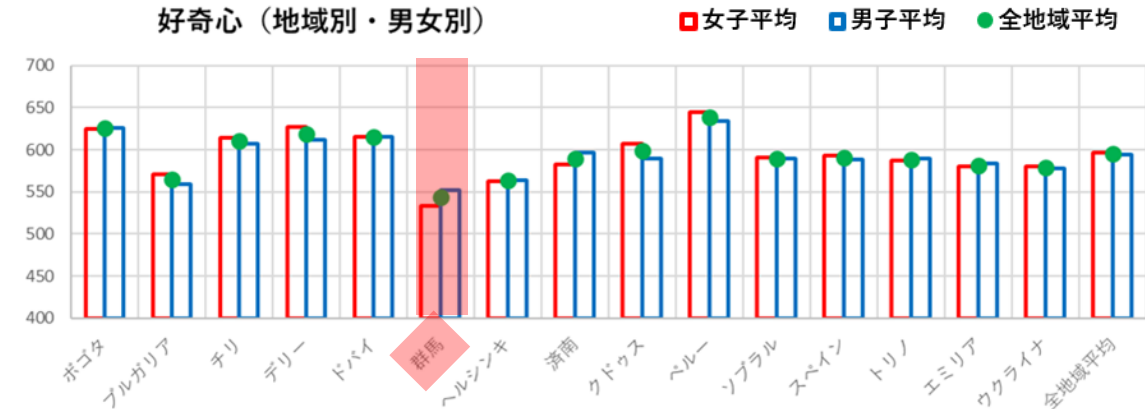
群馬県の特徴④ 他の地域では女子の方がスキルが高く、性差が小さいが、群馬県は男子の方が高い。

創造性（地域別・男女別）



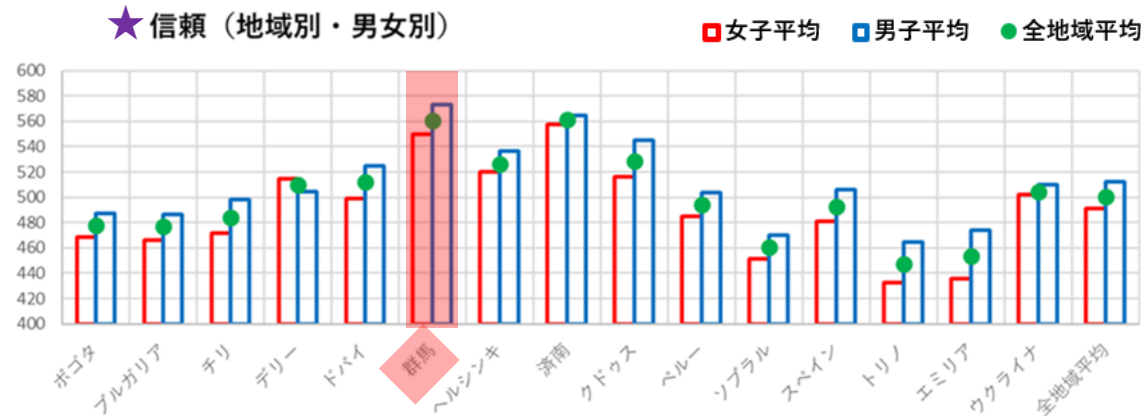
- 男女ともに群馬県のスキルが顕著に低い。

好奇心（地域別・男女別）



- 女子のスキルが高い地域と、男子のスキルが高い地域が存在している。
- 群馬県のスキル自体が低く、特に女子が低い。

★信頼（地域別・男女別）

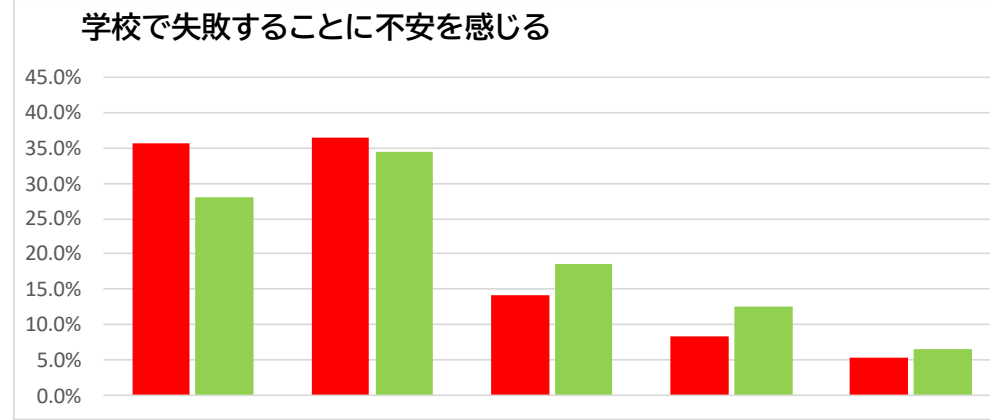
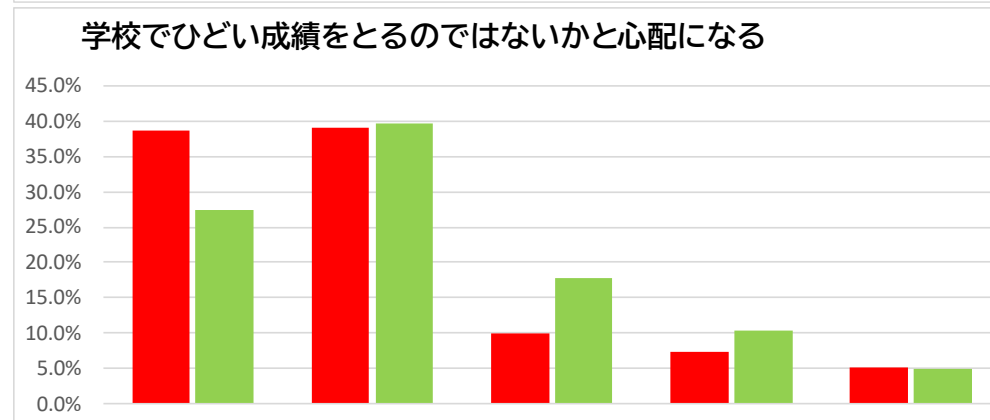
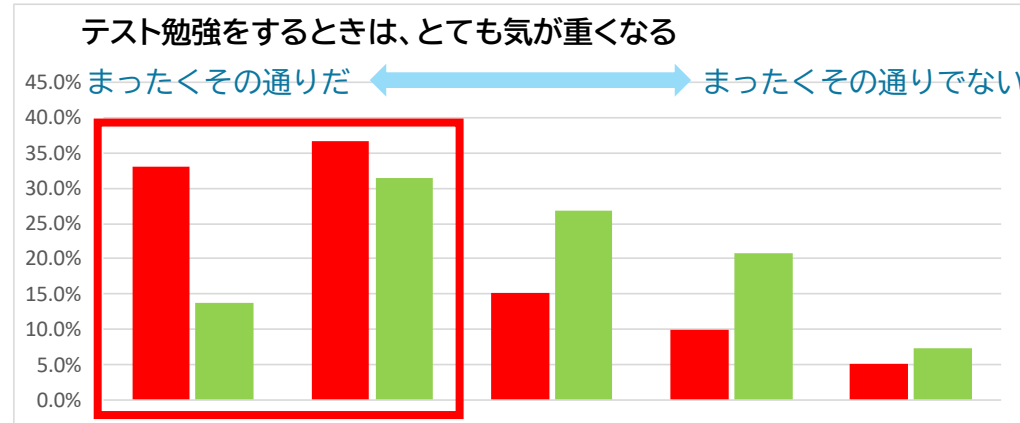
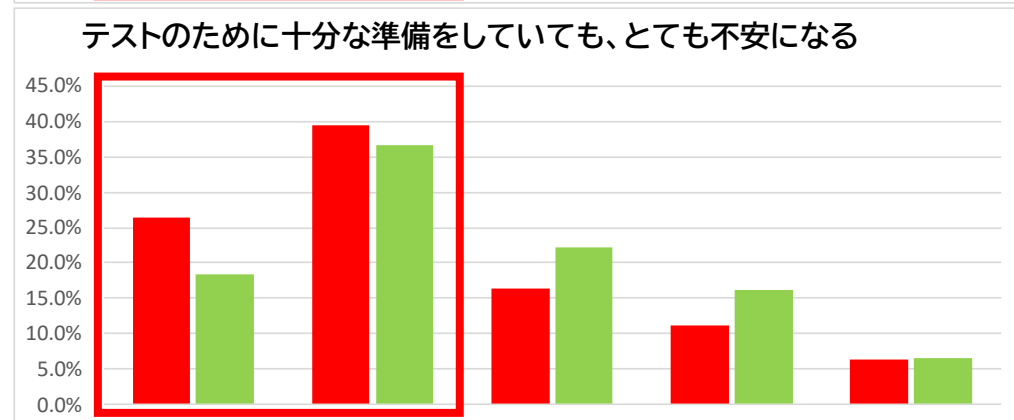
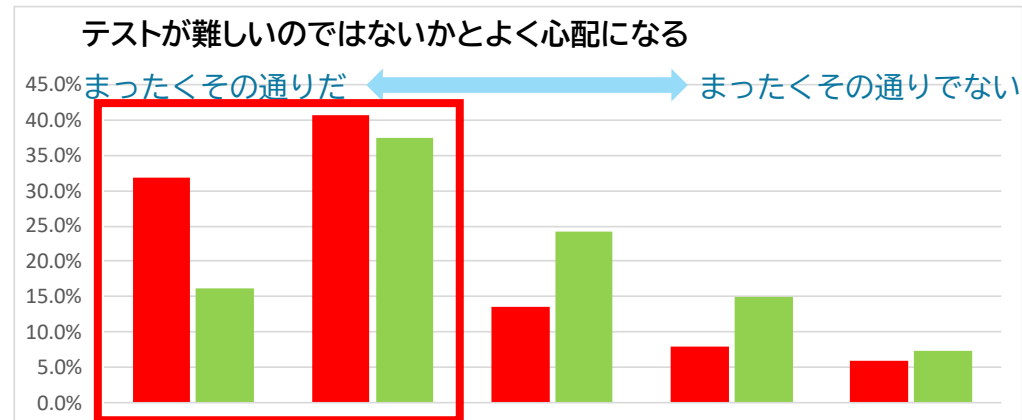


- 群馬県は男女ともスキルが高い。

テスト及び授業に関する質問及び生徒の回答

(グラフ) 左から
まったくその通りだ
その通りだ
どちらともいえない
その通りでない
まったくその通りでない

■ 群馬 ■ 他の地域



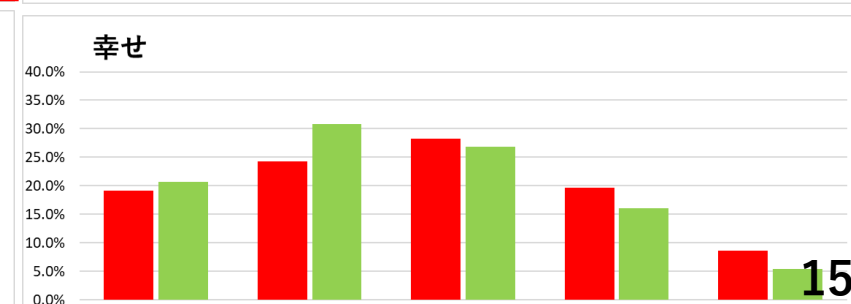
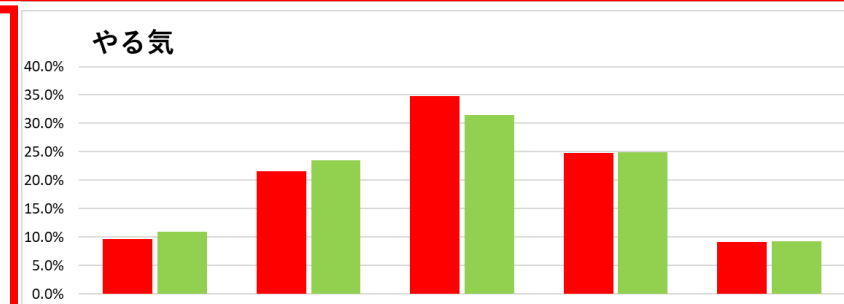
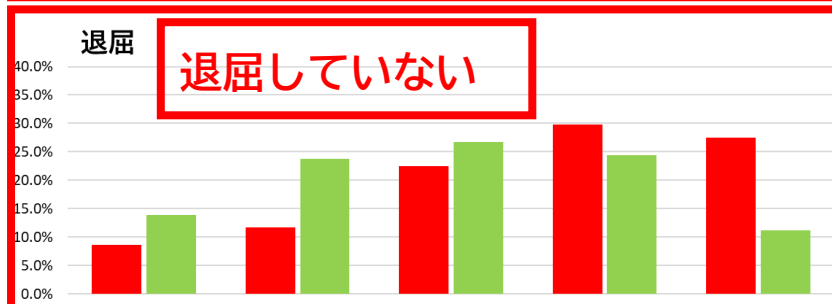
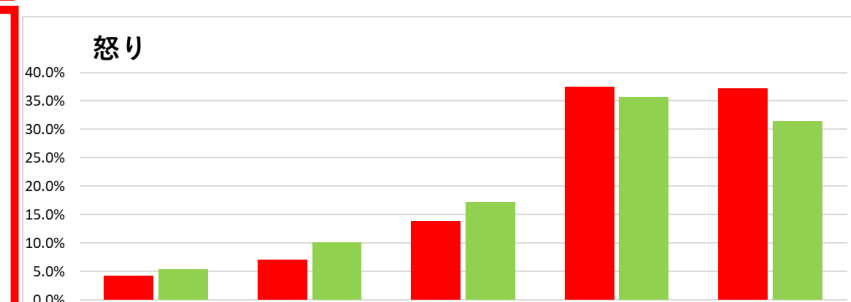
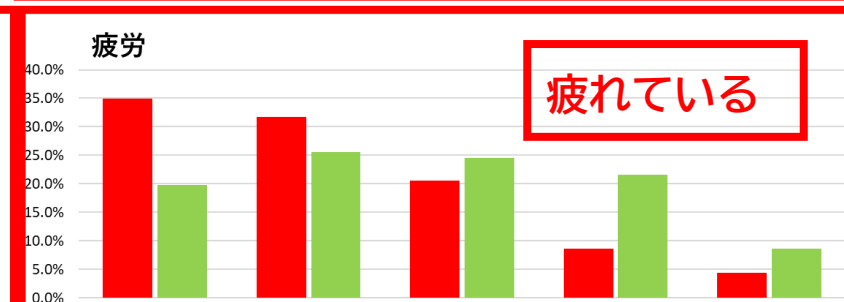
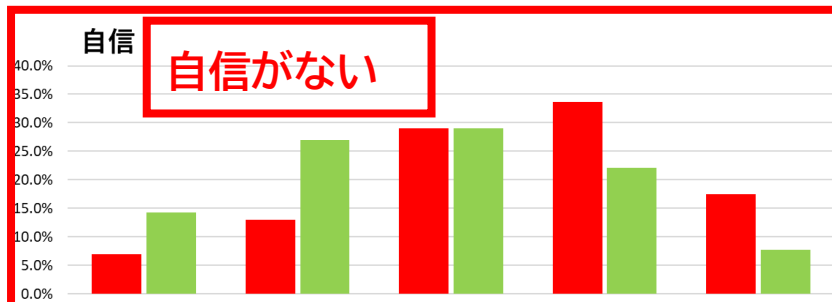
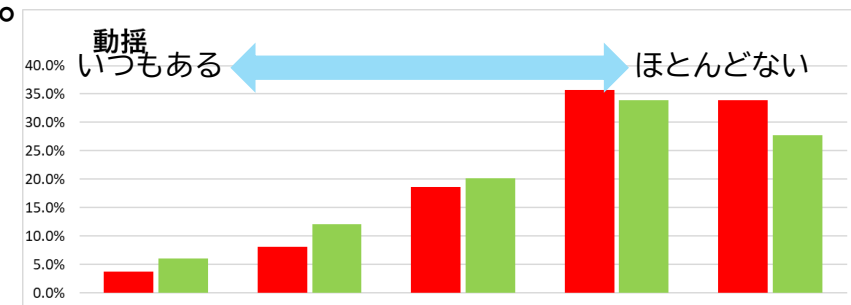
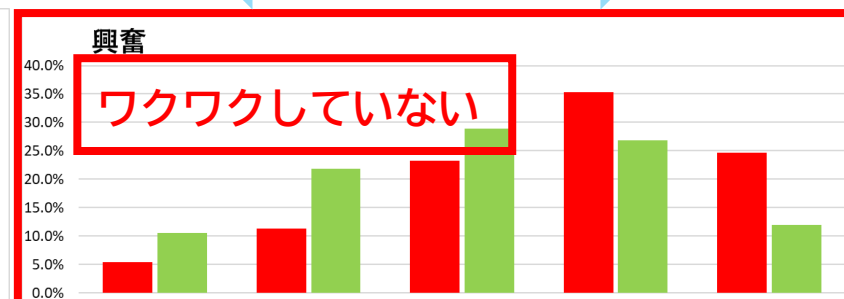
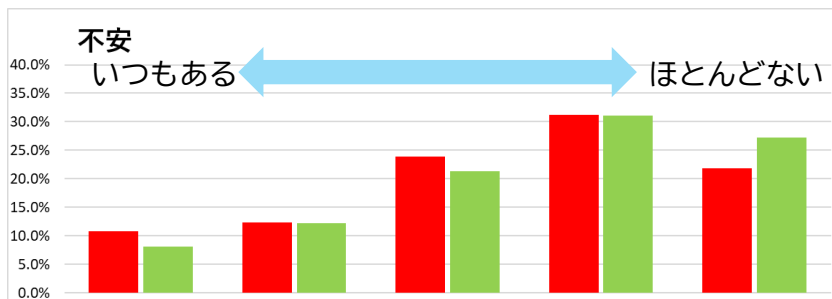
群馬県の生徒は、他国と比較して、テストに不安を感じているだけでなく、**失敗することへの不安**や**自分の学習への取組に対する不安**も多いことがうかがえる。

生徒の学校生活や人間関係に関する質問項目はOECDのWebページで公開されています。

過去4週間で、学校で次のような感情をもったことはどのくらいありましたか。

(グラフ) 左から
いつも、又はほとんどの時
半分を超える
半分ぐらい
半分にもならない
まったく、又はほとんどない

■ 群馬 ■ 他の地域



意見交換 I

◎次の内容について、ご意見をお願いいたします。

- ◆群馬県の生徒のスキルが低く出ている理由についてどのように思われますか。
- ◆学校生活に関する質問及び回答の結果について、要因として考えられるものは何だと思われますか。

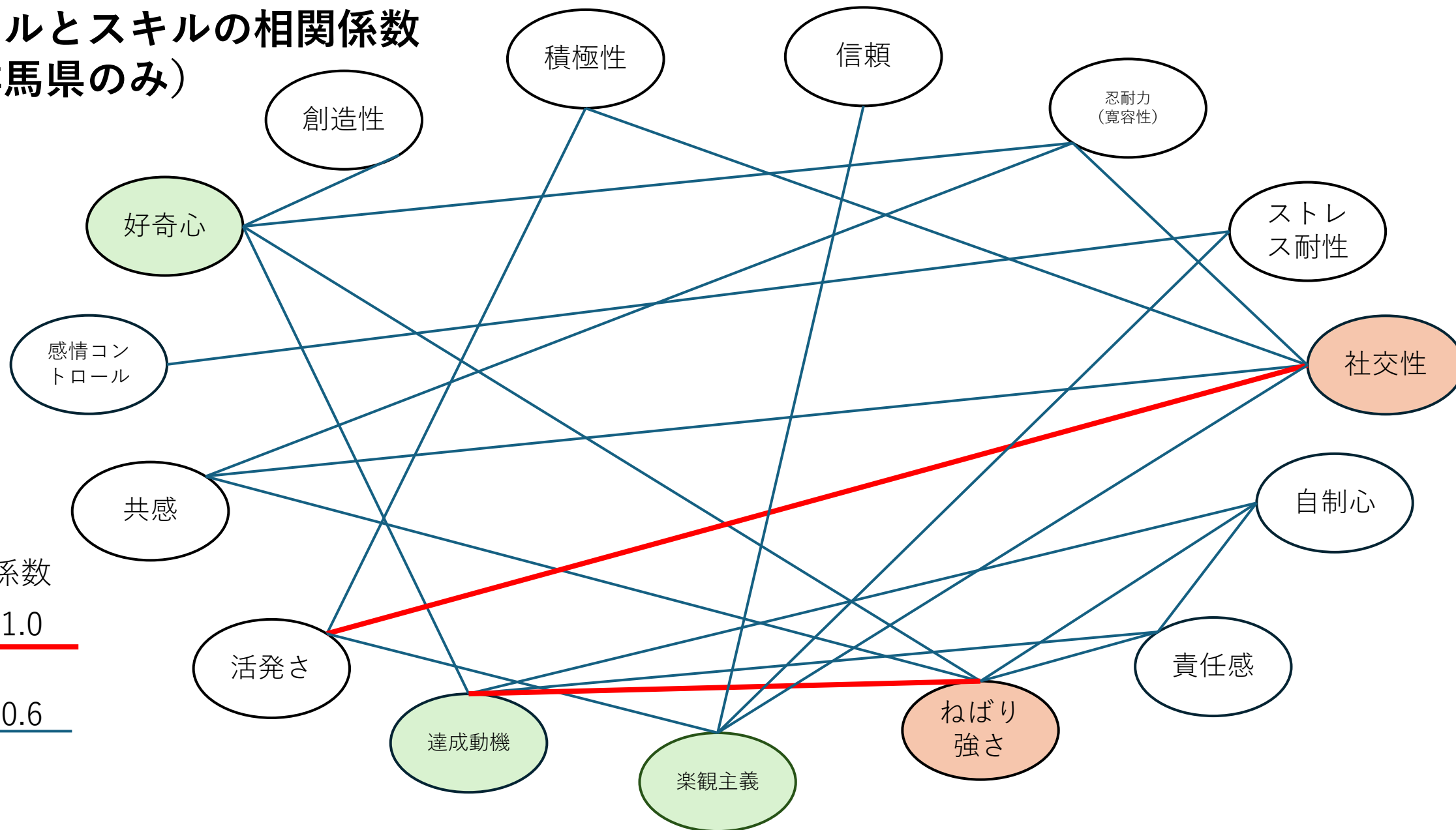
スキルとスキルの相関係数（群馬県のみ）

相関係数の目安

0.6以上	強い相関
0.4～0.6	中程度の相関
0.3～0.4	弱い相関
0.3未満	ほとんど相関なし

	積極性	創造性	好奇心	感情コントロール	共感	活発さ	達成動機	楽観主義	ねばり強さ	責任感	自制心	社交性	ストレス耐性	忍耐力（寛容性）	信頼
積極性	1	0.311	0.273	0.018	0.288	0.556	0.276	0.277	0.304	0.265	0.034	0.554	0.152	0.347	0.068
創造性	0.311	1	0.514	0.058	0.228	0.214	0.239	0.191	0.199	0.045	0.072	0.285	0.152	0.375	0.014
好奇心	0.273	0.514	1	0.156	0.302	0.283	0.550	0.282	0.429	0.182	0.285	0.247	0.208	0.508	0.152
感情コントロール	0.018	0.058	0.156	1	0.289	0.227	0.257	0.339	0.321	0.383	0.312	0.093	0.543	0.225	0.336
共感	0.288	0.228	0.302	0.289	1	0.309	0.374	0.399	0.404	0.344	0.327	0.401	0.261	0.497	0.376
活発さ	0.556	0.214	0.283	0.227	0.309	1	0.331	0.495	0.387	0.333	0.013	0.636	0.335	0.377	0.267
達成動機	0.276	0.239	0.550	0.257	0.374	0.331	1	0.314	0.657	0.479	0.454	0.201	0.216	0.354	0.257
楽観主義	0.277	0.191	0.282	0.339	0.399	0.495	0.314	1	0.340	0.251	0.103	0.418	0.524	0.391	0.461
ねばり強さ	0.304	0.199	0.429	0.321	0.404	0.387	0.657	0.340	1	0.582	0.438	0.250	0.285	0.359	0.298
責任感	0.265	0.045	0.182	0.383	0.344	0.333	0.479	0.251	0.582	1	0.471	0.148	0.238	0.199	0.255
自制心	0.034	0.072	0.285	0.312	0.327	0.013	0.454	0.103	0.438	0.471	1	-0.043	0.198	0.175	0.161
社交性	0.554	0.285	0.247	0.093	0.401	0.636	0.201	0.418	0.250	0.148	-0.043	1	0.256	0.512	0.229
ストレス耐性	0.152	0.152	0.208	0.543	0.261	0.335	0.216	0.524	0.285	0.238	0.198	0.256	1	0.299	0.304
忍耐力（寛容性）	0.347	0.375	0.508	0.225	0.497	0.377	0.354	0.391	0.359	0.199	0.175	0.512	0.299	1	0.295
信頼	0.068	0.014	0.152	0.336	0.376	0.267	0.257	0.461	0.298	0.255	0.161	0.229	0.304	0.295	1
相関係数が0.4以上の個数	2	1	4	1	3	3	4	4	5	3	3	5	2	3	1

スキルとスキルの関係



スキルとスキルの相関係数（他の地域）

相関係数の目安

0.6以上 強い相関

0.4～0.6 中程度の相関

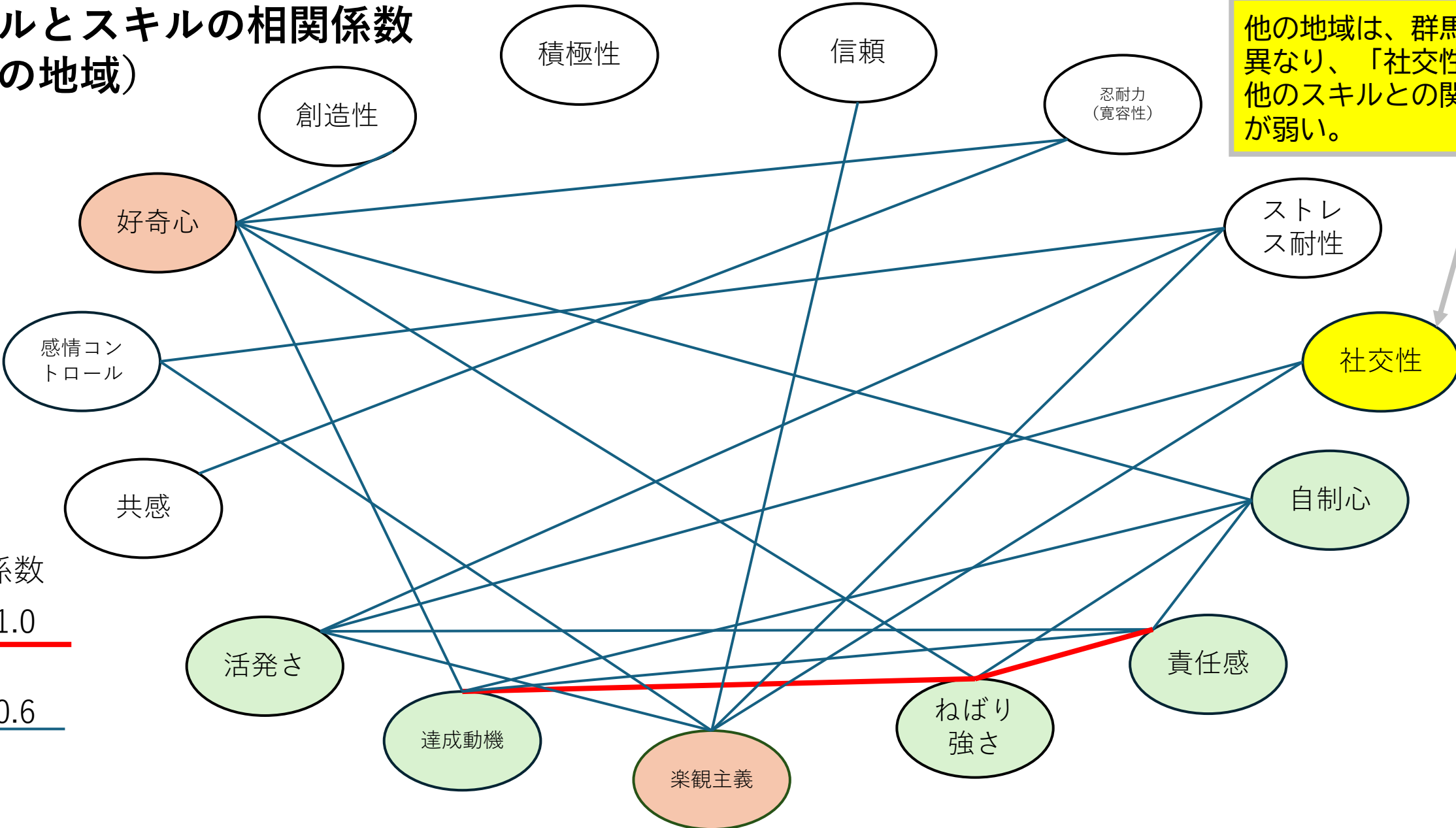
0.3～0.4 弱い相関

0.3未満 ほとんど相関なし

	積極性	創造性	好奇心	感情コントロール	共感	活発さ	達成動機	楽観主義	ねばり強さ	責任感	自制心	社交性	ストレス耐性	忍耐力（寛容性）	信頼
積極性	1	0.313	0.260	0.046	0.133	0.325	0.253	0.222	0.257	0.246	0.131	0.372	0.180	0.195	0.036
創造性	0.313	1	0.571	0.159	0.283	0.325	0.364	0.304	0.361	0.281	0.295	0.316	0.265	0.399	0.088
好奇心	0.260	0.571	1	0.183	0.332	0.277	0.535	0.310	0.491	0.322	0.406	0.224	0.246	0.523	0.120
感情コントロール	0.046	0.159	0.183	1	0.103	0.376	0.244	0.433	0.294	0.391	0.400	0.152	0.535	0.171	0.334
共感	0.133	0.283	0.332	0.103	1	0.146	0.312	0.217	0.281	0.220	0.257	0.312	0.054	0.435	0.318
活発さ	0.325	0.325	0.277	0.376	0.146	1	0.326	0.541	0.369	0.421	0.218	0.474	0.409	0.204	0.206
達成動機	0.253	0.364	0.535	0.244	0.312	0.326	1	0.358	0.727	0.581	0.499	0.203	0.218	0.326	0.221
楽観主義	0.222	0.304	0.310	0.433	0.217	0.541	0.358	1	0.371	0.363	0.315	0.432	0.526	0.258	0.404
ねばり強さ	0.257	0.361	0.491	0.294	0.281	0.369	0.727	0.371	1	0.646	0.493	0.215	0.288	0.323	0.200
責任感	0.246	0.281	0.322	0.391	0.220	0.421	0.581	0.363	0.646	1	0.500	0.205	0.286	0.225	0.175
自制心	0.131	0.295	0.406	0.400	0.257	0.218	0.499	0.315	0.493	0.500	1	0.100	0.390	0.238	0.207
社交性	0.372	0.316	0.224	0.152	0.312	0.474	0.203	0.432	0.215	0.205	0.100	1	0.266	0.318	0.256
ストレス耐性	0.180	0.265	0.246	0.535	0.054	0.409	0.218	0.526	0.288	0.286	0.390	0.266	1	0.161	0.274
忍耐力（寛容性）	0.195	0.399	0.523	0.171	0.435	0.204	0.326	0.258	0.323	0.225	0.238	0.318	0.161	1	0.175
信頼	0.036	0.088	0.120	0.334	0.318	0.206	0.221	0.404	0.200	0.175	0.207	0.256	0.274	0.175	1
相関係数が0.4以上の個数	0	1	5	2	1	4	4	5	4	4	4	2	3	2	1

スキルとスキルの相関係数
(他の地域)

相関係数
0.6~1.0
0.4~0.6



他の地域は、群馬県と異なり、「社交性」と他のスキルとの関係性が弱い。

国際報告書（第1弾）の**楽観主義**に関する記述（抜粋）

SSESは、**楽観性の高さが、恵まれない生徒や女子の生活満足度や人間関係満足度の高さ、また、女子のより良い身体イメージとも強い関連性をもつ**ことを発見した。これは、このような生徒にとって、**楽観主義**というスキルを養う**取組が特に有効**であることを示唆している。（P69）

生徒の**楽観主義**、信頼、達成動機、ねばり強さ、責任感が、**より高い人間関係満足度と最も強い相関**を示している。（P95）

生徒の現在の**心理的ウェルビーイングと最も強い関連性のあるスキルの中には、楽観主義**、活発さ、ストレス耐性があり、これらは、**より良い生活満足度や身体イメージとも強い関連**のあるスキルの上位に数えられる。（P102）

ストレス耐性が強いと回答した生徒は、**テストや学業への不安も低い**と回答している。ストレス耐性との関係が強い順に言うと、その他の最も**重要なスキルは、楽観主義**、感情コントロール、活発さである。（P109）

先行するエビデンスからも**楽観主義**の高さが、**人々が健康リスクを最小化する行動をとることと関係**していることが見てとれる。（P114）

感情コントロール力が高く**楽観主義**だと答えた生徒（3つの感情抑制スキルのうちの2つ）は、**遅刻や学校をサボることは少なく、ほぼ全ての地域で学業成績が高い傾向**がある。（P131）

楽観主義は、生活満足度や心理的ウェルビーイングなど、健康やウェルビーイングに**良い結果をもたらすことが予測**される。（P131）

他者と関わるスキル、**楽観主義**及び創造性のレベルが高い生徒は、**より起業を希望する傾向**がある。（P156）

スキルと各指標の相関係数（群馬県のみ）

相関係数の目安

0.6以上 強い相関

0.4～0.6 中程度の相関

0.3～0.4 弱い相関

0.3未満 ほとんど相関なし

	積極性	創造性	好奇心	感情コントロール	共感	活発さ	達成動機	楽観主義	なにより強さ	責任感	自制心	社交性	ストレス耐性	忍耐力（寛容性）	信頼
心理的ウェルビーイング	0.239	0.100	0.180	0.244	0.286	0.452	0.236	0.534	0.259	0.209	0.063	0.378	0.411	0.280	0.371
テスト及び授業への不安	-0.070	-0.089	-0.039	-0.146	0.097	-0.167	0.022	-0.178	-0.029	-0.073	0.058	-0.063	-0.245	0.003	-0.042
生活満足度	0.152	0.082	0.212	0.285	0.284	0.294	0.294	0.489	0.298	0.224	0.166	0.275	0.371	0.280	0.397
人間関係満足度／生活満足度	0.154	0.078	0.208	0.285	0.278	0.298	0.302	0.476	0.301	0.238	0.167	0.271	0.363	0.274	0.396
健康に関わる行動	0.147	0.071	0.136	0.151	0.112	0.266	0.188	0.210	0.220	0.171	0.079	0.152	0.178	0.103	0.165
ジェンダーバイアス/固定観念	0.032	-0.046	-0.032	-0.042	0.034	0.038	0.026	0.028	0.008	0.020	0.034	0.040	0.025	-0.076	0.040
ジェンダーに基づく暴力	-0.020	-0.035	-0.145	-0.182	-0.198	-0.080	-0.195	-0.165	-0.184	-0.174	-0.154	-0.063	-0.108	-0.204	-0.207
身体イメージ	0.212	0.196	0.215	0.209	0.136	0.300	0.192	0.404	0.197	0.173	0.081	0.214	0.286	0.155	0.189
学校でのいじめ	0.039	0.043	0.012	-0.179	-0.046	-0.041	-0.068	-0.156	-0.067	-0.115	-0.077	0.006	-0.145	-0.026	-0.182
いじめ加害者	0.019	0.033	0.007	-0.116	-0.060	-0.008	-0.070	-0.063	-0.072	-0.113	-0.070	0.026	-0.045	-0.038	-0.090
学校への帰属意識	0.289	0.115	0.214	0.283	0.360	0.451	0.260	0.474	0.281	0.230	0.098	0.486	0.334	0.383	0.392
成長マインドセット	0.157	0.161	0.254	0.154	0.285	0.232	0.260	0.288	0.279	0.184	0.157	0.234	0.231	0.274	0.284
学生とクラスメイトの関係	0.202	0.086	0.204	0.251	0.395	0.296	0.257	0.386	0.280	0.216	0.163	0.331	0.253	0.345	0.436
教師との関係の認識	0.101	0.090	0.223	0.217	0.317	0.167	0.270	0.282	0.241	0.173	0.161	0.163	0.197	0.298	0.323
欠席遅刻	0.004	0.005	-0.032	-0.021	-0.047	-0.014	-0.078	-0.037	-0.054	-0.060	-0.046	0.003	-0.009	-0.017	-0.030
家庭における性別役割	-0.033	-0.065	-0.035	-0.060	-0.043	-0.080	-0.073	-0.077	-0.076	-0.061	-0.038	-0.054	-0.086	-0.020	-0.069
相関係数が0.4以上の個数	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	0	1	1	0	1

スキルと各指標の相関係数（群馬県のみ）

横軸：アウトプット（社会情動的スキルなどの心理的指標）
縦軸：インプット（学校生活内で観察可能な行動や環境）

	積極性	創造性	好奇心	感情コントロール	共感	活発さ	達成動機	楽観主義	ねばり強さ	責任感	自制心	社交性	ストレス耐性	忍耐力（寛容性）	信頼	心理的ウェルビーイング	生活満足度	人間関係満足度／生活満足度	ジェンダーバイアス／固定観念	身体イメージ	学校への帰属意識	成長マインドセット
数学の成績	0.006	-0.004	0.018	0.011	-0.016	0.010	0.044	-0.015	0.014	0.011	0.001	-0.035	0.004	-0.013	-0.003	0.004	0.004	0.006	0.020	0.047	0.038	0.018
国語の成績	0.005	0.001	0.012	0.008	-0.011	0.000	0.039	-0.018	0.007	0.008	0.004	-0.037	-0.002	-0.012	-0.013	-0.001	0.001	0.002	0.015	0.036	0.032	0.010
芸術の成績	-0.002	0.021	0.009	0.006	-0.006	0.004	0.017	-0.012	0.006	0.012	0.000	-0.021	0.004	-0.005	-0.002	0.011	0.018	0.016	0.015	0.030	0.033	0.021
テスト及び授業への不安	-0.070	-0.089	-0.039	-0.146	0.097	-0.167	0.022	-0.178	-0.029	-0.073	0.058	-0.063	-0.245	0.003	-0.042	-0.058	-0.032	-0.032	0.136	-0.128	0.088	0.083
健康に関わる行動	0.147	0.071	0.136	0.151	0.112	0.266	0.188	0.210	0.220	0.171	0.079	0.152	0.178	0.103	0.165	0.312	0.285	0.293	0.117	0.300	0.201	0.215
ジェンダーに基づく暴力	-0.020	-0.035	-0.145	-0.182	-0.198	-0.080	-0.195	-0.165	-0.184	-0.174	-0.154	-0.063	-0.108	-0.204	-0.207	-0.047	-0.100	-0.097	0.289	0.033	-0.095	0.037
学校でのいじめ	0.039	0.043	0.012	-0.179	-0.046	-0.041	-0.068	-0.156	-0.067	-0.115	-0.077	0.006	-0.145	-0.026	-0.182	-0.043	-0.094	-0.089	0.195	0.016	0.065	0.120
いじめ加害者	0.019	0.033	0.007	-0.116	-0.060	-0.008	-0.070	-0.063	-0.072	-0.113	-0.070	0.026	-0.045	-0.038	-0.090	0.061	0.017	0.026	0.245	0.101	0.174	0.173
学生とクラスメイトの関係	0.202	0.086	0.204	0.251	0.395	0.296	0.257	0.386	0.280	0.216	0.163	0.331	0.253	0.345	0.436	0.377	0.443	0.453	0.088	0.256	0.683	0.333
教師との関係の認識	0.101	0.090	0.223	0.217	0.317	0.167	0.270	0.282	0.241	0.173	0.161	0.163	0.197	0.298	0.323	0.299	0.395	0.374	0.125	0.192	0.565	0.329
欠席遅刻	0.004	0.005	-0.032	-0.021	-0.047	-0.014	-0.078	-0.037	-0.054	-0.060	-0.046	0.003	-0.009	-0.017	-0.030	0.106	0.066	0.071	0.199	0.112	0.250	0.208
家庭における性別役割	-0.033	-0.065	-0.035	-0.060	-0.043	-0.080	-0.073	-0.077	-0.076	-0.061	-0.038	-0.054	-0.086	-0.020	-0.069	-0.025	-0.042	-0.040	0.130	-0.002	0.047	0.018
親の経済的背景	0.009	0.007	-0.003	0.001	-0.025	-0.011	0.008	-0.007	-0.011	-0.009	0.005	-0.022	0.009	-0.012	-0.009	0.143	0.112	0.113	0.122	0.157	0.110	0.152

生徒同士の良好な関係や先生との良好な関係が、スキルやウェルビーイングと関係していることがうかがえる

意見交換Ⅱ

◎次の内容について、ご意見をお願いいたします。

- ◆群馬県の生徒の「社交性」は、他の地域に比べて相関係数の高いスキルの数が多いという結果が出ています。このことについて、どう思われますか。
- ◆OECDの国際報告書では「楽観主義」の重要性について、多く取り上げられています。「楽観主義」についてどう思われますか。
- ◆群馬県の生徒の「強みとなるスキル」と「課題となるスキル」はどのようなスキルになると思われますか。

報告書の内容

- P 4 5（教室での社会情動的学習の促進）
- 生徒は、フィードバックは自分の長所よりも短所に重点が置かれることが多いと回答している。
 - 長所に関してフィードバックを頻繁に受けていると回答した生徒は、10人のうち3人である。
 - 平均してほとんどの地域で、**教員のすべてのフィードバック（特に長所に関するフィードバック）**は、**社会情動的スキルに関連**していた。
 - 群馬（日本）は、教員のフィードバックが達成動機と共感の両方のスキルと強い関係があり、両方のスキルに同等に影響を与えていると思われる唯一の教育システムである。

全地域で**長所に対するフィードバックが短所や成績を高める方法のフィードバックと比較して少ない。**



	先生のフィードバックについて回答した生徒の割合:								
	長所			短所			向上		
	ない	多少	ある	ない	多少	ある	ない	多少	ある
	%	%	%	%	%	%	%	%	%
National entities									
Bulgaria	27.3	48.5	24.3	25.3	44.0	30.8	14.8	41.5	43.7
Chile	23.7	46.6	29.7	20.2	41.8	38.0	18.3	37.8	44.0
Peru	20.1	54.9	25.0	12.5	49.7	37.8	10.1	43.5	46.4
Spain	31.6	50.5	17.9	14.3	50.9	34.8	18.5	47.8	33.8
Ukraine (19 of 27 regions)	24.3	51.0	24.6	8.0	49.2	42.8	8.3	42.7	49.0
Other participants									
Bogotá (Colombia)	16.6	53.8	29.6	16.0	46.1	37.9	11.7	44.0	44.3
Delhi (India)	17.5	40.9	41.6	8.0	29.6	62.4	8.4	26.2	65.4
Dubai (UAE)	9.5	45.0	45.5	7.7	39.1	53.2	8.3	40.3	51.4
Emilia-Romagna (Italy)	36.7	51.2	12.0	19.4	54.3	26.3	22.9	51.5	25.7
Gunma (Japan)	35.3	43.6	21.1	21.8	39.1	39.1	12.7	37.0	50.3
Helsinki (Finland)	23.5	54.8	21.7	19.4	57.4	23.2	21.0	55.2	23.8
Jinan (China)	8.5	48.9	42.6	4.0	40.1	55.9	5.1	41.7	53.2
Kudus (Indonesia)	12.2	57.3	30.5	10.6	50.6	38.8	9.6	46.2	44.2
Sobral (Brazil)	32.1	46.6	21.2	23.4	44.6	32.0	22.0	42.4	35.6
Turin (Italy)	35.4	53.2	11.4	19.1	55.7	25.2	23.1	52.3	24.7
Average	23.6	49.8	26.6	15.3	46.1	38.5	14.3	43.3	42.4

報告書の内容

P 5 5（社会情動的教育を奨励するための教員の準備）
群馬（日本）、ヘルシンキ（フィンランド）、トリノ（イタリア）では、45%以上の教員がこのトピックに関する研修を受けていなかった。

群馬県は社会情動的スキル育成に関する研修や自己研鑽を行っている教員が他の地域と比較して少ない。

➤ R5年度当初の調査のため、教員に「社会情動的スキル」という言葉がまだ周知されていない段階の結果である。

	私が教える一部またはすべての科目の授業実践、教育法、内容			教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考、問題解決）			教育におけるICT（情報通信技術）の活用			学生のカウンセリング（学校の勉強、進路指導、行動指導など）			生徒の社会情動的スキルを理解する			教室に社会情動的学習を取り入れる			生徒の社会情動的スキルを定期的に監視する			いじめの特定と対策		
	研修	自己	なし	研修	自己	なし	研修	自己	なし	研修	自己	なし	研修	自己	なし	研修	自己	なし	研修	自己	なし	研修	自己	なし
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
National entities																								
Bulgaria	61.5	32.1	6.5	51.9	31.2	16.9	54.7	37.7	7.6	48.0	35.6	16.4	47.8	29.8	22.4	45.5	24.7	29.8	29.9	24.8	45.3	46.2	40.1	13.6
Chile	63.7	23.9	12.3	58.4	27.0	14.6	58.9	26.4	14.6	39.9	25.1	35.1	34.5	31.1	34.3	32.4	28.9	38.7	23.7	23.3	53.0	29.6	30.8	39.5
Peru	44.2	42.5	13.3	47.6	43.0	9.4	45.9	44.7	9.4	36.5	38.8	24.7	37.6	46.2	16.2	32.3	45.7	22.0	28.9	41.0	30.1	31.6	45.7	22.6
Spain	51.1	36.4	12.6	40.0	33.7	26.4	34.6	58.2	7.2	31.1	31.2	37.7	32.6	28.4	39.0	27.0	28.7	44.3	21.6	26.2	52.3	25.6	34.2	40.2
Ukraine (19 of 27 regions)	60.5	32.2	7.3	53.8	41.0	5.2	54.8	41.2	4.0	40.3	47.6	12.1	45.9	42.2	11.9	39.1	41.9	19.0	33.2	32.4	34.4	36.1	48.5	15.3
Other participants																								
Bogotá (Colombia)	60.2	31.7	8.1	53.5	32.9	13.6	46.0	37.0	17.0	35.9	32.0	32.2	37.2	36.6	26.2	36.5	35.8	27.7	29.4	32.6	38.0	28.5	41.3	30.2
Delhi (India)	64.8	29.1	6.1	64.3	30.8	4.9	57.7	33.8	8.5	59.3	30.5	10.2	64.0	29.7	6.3	62.7	29.4	8.0	60.7	31.6	7.7	55.7	30.1	14.2
Dubai (UAE)	43.6	53.9	2.5	38.7	57.6	3.7	37.4	57.3	5.3	36.1	46.8	17.1	39.5	49.6	10.9	37.9	47.3	14.8	35.7	49.2	15.1	36.0	55.1	8.9
Emilia-Romagna (Italy)	65.1	22.2	12.7	55.8	27.0	17.2	52.3	36.4	11.2	32.7	23.8	43.5	41.6	25.6	32.7	37.6	21.0	41.3	27.1	13.0	59.0	39.0	27.1	33.9
Gunma (Japan)	73.2	10.2	16.6	60.8	8.7	30.5	62.1	14.4	23.4	73.5	13.3	13.2	36.7	10.3	53.0	30.1	7.7	62.2	23.9	6.0	70.1	71.8	14.9	13.2
Helsinki (Finland)	75.1	16.4	8.5	47.8	16.6	35.6	49.3	23.9	26.8	23.1	17.1	59.8	37.0	27.4	35.6	24.0	30.2	45.8	11.2	14.4	74.5	26.6	26.5	46.9
Jinan (China)	51.3	45.6	3.1	45.7	45.8	8.5	40.7	49.7	9.6	42.9	51.3	5.8	41.5	47.9	10.6	42.7	50.3	7.0	36.3	44.9	18.8	43.3	48.0	8.6
Kudus (Indonesia)	70.7	27.0	2.2	61.9	32.7	5.4	63.4	33.9	2.7	60.7	28.1	11.2	68.0	28.4	3.6	66.2	29.7	4.1	61.7	32.0	6.3	56.1	35.7	8.1
Sobral (Brazil)	60.0	31.1	8.9	45.3	33.6	21.1	41.7	37.6	20.7	38.0	32.3	29.7	33.5	42.8	23.7	33.0	38.8	28.2	29.1	37.9	32.9	31.7	40.1	28.2
Turin (Italy)	67.9	20.8	11.3	50.9	24.3	24.9	54.7	33.7	11.6	28.6	22.8	48.7	39.4	22.7	37.8	30.6	21.0	48.4	19.6	14.3	66.1	36.3	31.0	32.7
Average	60.9	30.3	8.8	51.8	32.4	15.9	50.3	37.7	12.0	41.8	31.7	26.5	42.5	33.3	24.3	38.5	32.1	29.4	31.5	28.3	40.2	39.6	36.6	23.8

群馬県は

- 教科指導
- ICTの利活用
- カウンセリング
- いじめ

に関する研修が他のサイトと比較して充実していることがうかがえる。
そのため、自己研鑽が少ないのではないだろうか。

報告書の内容

P 7 3（社会情動的教育の価値及びアプローチに関する共通認識の醸成）
参加地域は、生徒の社会情動的学习における自らの重要な役割について、教員の意識を高める取組を強化しなければならない。特に群馬（日本）などでは、教員の20%以上が、教員がこの業務に責任を負うべきであると考えていなかった。

学校現場における社会的情動的技能の育成について、他の地域と比較して、**学校が育成する責任があると考えている教員が少ない。**



	一般教員	
	No	Yes
	%	%
National entities		
Bulgaria	19.4	80.6
Chile	17.8	82.2
Peru	8.5	91.5
Spain	15.9	84.1
Ukraine (19 of 27 regions)	21.9	78.1
Other participants		
Bogotá (Colombia)	10.6	89.4
Delhi (India)	5.6	94.4
Dubai (UAE)	4.3	95.7
Emilia-Romagna (Italy)	6.3	93.7
Gunma (Japan)	24.7	75.3
Helsinki (Finland)	4.2	95.8
Jinan (China)	7.1	92.9
Kudus (Indonesia)	3.8	96.2
Sobral (Brazil)	33.7	66.3
Turin (Italy)	6.2	93.8
Average	12.7	87.3

意見交換Ⅲ

◎次の内容について、ご意見をお願いいたします。

◆「フィードバックの在り方」「社会情動的スキル育成に関する教員の研修」「社会情動的スキルの育成に関する教員の意識」の結果について、要因として考えられるものは何だと思われますか。

◎その他、ご自由にご意見をお願いいたします。